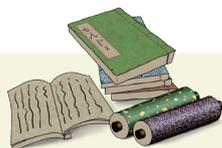
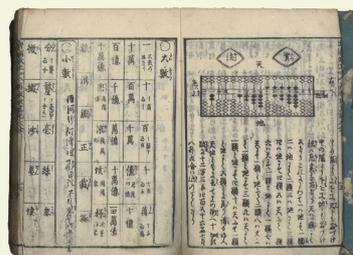


古文書を読む会



昔の人が書き残した文書資料などを教材として、
くずし字を読むコツを学びます。

- とき** 第3回 午後2時～4時
- ところ** 2階研修室
- 内容** 配付テキストを黙読した後、解説をします。
- 対象** どなたでも
- 参加費** 1回 300円 ※申し込み不要
- 持ち物** 筆記用具



版木でむかしの教科書をつくろう

明治時代の本物の版木を使い版画で昔の教科書を作ります。

- とき** 8月21日(日)～25日(木) ①午前10時～ ②午後2時～
 - ところ** 2階研修室
 - 定員** 各回1組2人まで **参加費** 100円
 - 申し込み** 8月11日(日)までに、直接、電話、メールで住所・氏名・電話番号・希望日時を博物館 (☒ museum@city.gamagori.lg.jp) へ。
- ※汚れてもよい服装で参加してください。



ひつりんと
館長の



小林龍二

6月末、早朝。私は沖縄の有名な水族館の開館前の列に並んでいました。梅雨の明けた沖縄は憎らしいほどの太陽光線で汗が噴き出しますが、それは別の理由の汗もかいていました。今回の沖縄は、秋に大リニューアルする竹島水族館のための出張で、いわゆる「潜入調査」だったからです。気分はトム・クルーズです。潜入する超有名水族館は、ジンベエザメでよく知られていますが、深海生物でも有名で国内最高峰の水槽があります。その水槽を観察し、情報を集め、これに匹敵する水槽を竹島水族館でも作ることを目的としていました。

開館と同時に人気のジンベエザメには目もくれず、深海コーナーに走り、お客さんが誰もいない水槽を写真に撮ります。持ってきたメジャーでスパイのように水槽の幅を計っているところで事態が急変！奥の暗闇から「何をされてますか！」という警戒に満ちた鋭い声をかけられました。「あ、バシた見事に相手水族館のスタッフさんに見つかってしまったのです。やはりトム・クルーズにはなれない、こうなったら悪あがきせず素直に謝ろうと思いついて、今回の極秘任務の趣旨を相手に話すと「そんな事なら気軽に言ってくださいよー！」と笑顔で言われ、事情を理解してくれたスタッフさんが隅から隅まで案内してくれました。沖縄の人は温かいですね。涙が出ました。全米も泣いた。



現在の水族館隣には新深海大水槽が
でき始めています！

P20の水族館のイベント記事もご覧ください。